



(1) 併願

【大学入学共通テスト利用入学選抜】すべての学部併願および学部内すべての学科間・学科内(科目型)併願が可能。  
 【一般選抜(全学部日程)】学部間の併願はできない。ただし、一部の学部では学部内学科間の併願が可能。  
 【一般選抜(個別学部日程)】試験日が異なれば併願が可能。同一試験日でも、試験時間が午前と午後で異なれば可能。

(2) 独自のリベラルアーツ教育「青山スタンダード」

さまざまな問題を複眼的にとらえ、自分たちの未来を主体的に決めていくために総合的な価値判断ができる「良き市民(good citizen)」を育成すべく、「青山スタンダード」という全学共通教育システムを確立している。異なる学問や分野の仲間との「出会い」が複眼的な視野を養い、多様性を理解する。  
 【ウェルカム・レクチャー】  
 “大学で学問を学ぶ意義”について理解を深め、学生生活や社会で役立つことを伝える。  
 【フレッシュヤーズ・セミナー】  
 セミナー(演習)形式の授業を通じて、“大学における学びの作法”を体験的に学ぶ。  
 【キャリアデザイン・セミナー】  
 卒業後を「今」考えることで、職業観、勤労観の養成を目指す。

【コア科目】  
 「教養コア科目」  
 キリスト教理解、人間理解、社会理解、自然理解、歴史理解の5領域  
 「技能コア科目」  
 言葉の技能、身体の技能、情報の技能、キャリアの技能  
 【テーマ別科目】  
 コア科目の各領域科目の応用的かつアドバンストな科目で、基本的に2年次以降の学生が履修。個別的なテーマや各学部の専門基礎もしくは専門導入的な内容となっている。

●地の塩、世の光奨学金

一般選抜または大学入学共通テスト利用入学選抜を受験し、入学を希望する首都圏(東京島しょ部を除く)、神奈川、埼玉、千葉)以外の道府県出身者で、学業成績が優秀かつ経済的理由で進学が困難な学生に対し、年額50万円を原則4年間継続(継続審査あり)で支給する奨学金制度。入学選抜の出願前または出願期間中の申請期間に申し込み、合格発表前に入学後の交付を約束する「予約型」給付奨学金。

●ウェブサイト『受験生向け大学案内』

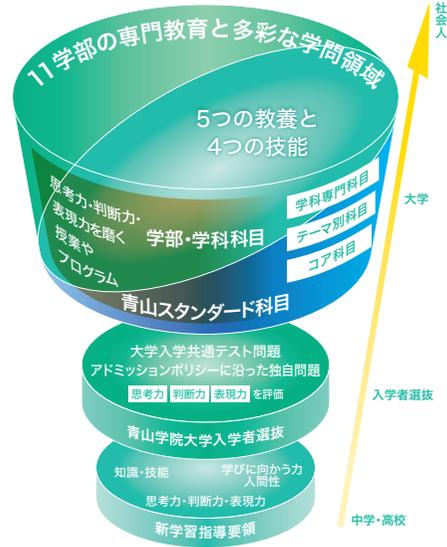
各学部の授業紹介MOVIE、キャンパスツアーMOVIEなど、在学生や研究者の声を紹介している。

(ページ上のQRコードからアクセス)

●2024年度入学選抜の変更点

国際政治経済学部国際政治学科、国際コミュニケーション学科の一般選抜(個別学部日程)B方式において出願資格とする英語資格・検定試験の種類を拡大。新たにTEAP、TEAP CBT、TOEIC、GTECが加わる。  
 また、理工学部の一般選抜(個別学部日程)B方式、社会情報学部一般選抜(個別学部日程)B・C・D方式は、本学独自問題のみを課す試験形態に変更して実施。

すべての人と社会のために  
未来を拓くサーバント・リーダーへ



て、問題を発見する力や分析力、課題解決能力やプレゼンスキルなども身に付けることができます。  
 総合文化政策学部の「ラボ・アトリエ実習(フェアトレードやSDGs)では、フェアトレードやSDGsの理念を理解したうえで、学生が主体となって学内(学生食堂や購買会)での実践を企画し、フェアトレードの啓発活動を実行しています。

社会情報学部の「プロジェクト演習入門Ⅰ・Ⅱ」では、企業や行政が抱える具体的な課題について、少数のグループで解決策を模索。中間および最終報告会を経て、課題を提示した外部の審査員から評価を受けます。さらにコミュニティ人間科学部の「地域社会調査法入門(質的調査)」では、インタビューやフィールドワークなど、量的な調査では分かったり得な



青山キャンパス

青山学院大学のルーツは、明治初期に3人の米国キリスト教宣教師たちが設立した学校です。

「地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する」という1996年に明文化された理念を具現化するため、独自のリベラルアーツ教育である「青山スタンダード」で幅広い分野の知識や多角的な視点を養い、各学部・学科の専門科目では、思考力や判断力、表現力をさらに伸ばすカリキュラムを整えています。

そして、高校までの学びをスムーズに大学教育に接続させるため、2021年度入学選抜より、各学部・学科のアドミッションポリシーに基づく多面的・総合的な評価を行う入試方式を導入しました。

# 青山学院大学

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 入学広報部 TEL 03-3409-0135 <https://www.aoyama.ac.jp/>

## 大規模な入試改革を推進し、 思考を深める多彩な教育により、 未来のサーバント・リーダーを育成

### 思考力・判断力・表現力を重視する入学選抜

文部科学省の学習指導要領では、中学・高校の教育段階において思考力・判断力・表現力(3つの力)を重視し、学びに向かう人間性を涵養することが重視されています。この流れは、青山学院大学が1996年に明文化した「地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって自らの問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する」という理念に合致するものでした。

そのため、2021年度からは入学選抜を大きく改革。募集人数の多い一般選抜(個別学部日程)では記述式・論述式の問題の拡充や、総合問題の導入を行いました。共通テストを併用し基礎学力を測るとともに、大学独自の試験問題において、大学入学後に求められる力を多面的に評価します(一部の学部・学科方式では、共通テストを併用しない独自問題のみの選抜も実施)。また、入学選抜に臨むことを通じて、受験生が学部・学科の特色を理解し、

入学後の学びや自身の将来をイメージできることも狙いとしています。このほかに、大学入学共通テスト利用入学選抜、独自問題のみをマークシート方式で行う一般選抜(全学部日程)もあります。なお、この2つの入試と一般選抜(個別学部日程)では、選抜種別間で併願も可能です。

### 自ら考え、主体的に学ぶ学生をさらに伸ばす独自の教育システム

入学選抜を通して、3つの力を備えた新入生を迎える青山学院大学では、それぞれの知識・教養・能力・技能をさらに磨く多彩な教育システムと、思考を深める伝統の学びを用意しています。

その代表的なプログラムが、独自のリベラルアーツ教育である「青山スタンダード」です。学びの第一歩をサポートする「ウェルカム・レクチャー」や「フレッシュヤーズ・セミナー」では、学問を学ぶ意義や大学での学び方を知ります。教養領域(キリスト教理解・人間理解・社会理解・自然理解・歴史理解)と技能領域(言葉の技能・身体の技能・情報の技能・キャリアの技能)の9つの領域では、一定水準の教養と能力を修得する「コア科目」とその応用分野を学ぶ「テーマ別科目」を設置し、専門科目も視野に入れながら、自分の興味・関心やコア科目と連動させた学びを展開する仕組みを確立しています。

「データを読み解く洞察力」「先端的技術を実践できる応用力」「結果の妥当性を評価できる評価能力」という3つの能力を併せ持つ実践的なデータサイエンティストの育成を目的としています。

データサイエンスは、理系に特化した学問分野ではありません。データサイエンスで解決すべき問題自体は、大学の中でも特に文系学部で遭遇する可能性が高いといえ、まさに「学際」的なテーマとなっています。そこで文理問わずデータサイエンス教育を展開するため、2022年に青山スタンダード教育機構内に「青山データサイエンス教育コンファレンス(adSec)」を設置しました。各学部にも所属するデータサイエンス領域の教員による組織で、まず青山スタンダード科目としての入門教育プログラムを全学部の学生向けに提供します。具体的には、2022年度後期から全学向け初年次教育であるフレッシュヤーズ・セミナーに、データサイエンスの基礎に関するオンデマンド授業を開講しました。



新図書館棟「マクレイ記念館」イメージ図(外観パース)

データサイエンスやAIなどを理解して活用するために求められる基礎知識と技術を紹介し、今後は各学部の専門教育へと接続する予定です。学部や学科にデータサイエンスと銘打ってはいませんが、データサイエンスと各専門分野の橋渡しや各専門分野での多様な取り組みにadSecが支援・調整するかたちで各学部専門教育へと展開し、同大の持ち味を出していきます。

今後は、青山データサイエンス・ラーニングコモンズを設置する予定です。これは学内勉強会のプラットフォームとなる全学的な学習環境の場で、将来的には初等部、中・高等部との連携も視野に入れています。



相模原キャンパス